

平成 29 年度 学校経営方針

1. 学校経営理念

『魅力ある学校づくり』を進める

- (1) 子ども達の良さや可能性を伸ばす教育活動のある学校
- (2) 教職員が使命感を持ち、英知を結集した教育実践に取り組む学校
- (3) 子ども達が誇りに思い、家庭・地域の信頼に応える学校

2. 教育目標

『豊かな知性と心を持ち、たくましく未来を生き抜く児童の育成』

◎「めざす児童像」 <知・徳・体の調和のとれた心豊かな児童>

よく考える子

興味・関心をもち、
意欲的に学び、
自分の考えを深める子

思いやりのある子

自他を大切にし、
協力してお互いを
高め合う子

がんばりぬく子

自己の目標達成に向けて
心身の向上に努める子

◎教育方針

- (1) わかる授業の探究と創造に努め、意欲的に学習に取り組む児童を育成する。
- (2) 一人一人のよさを認め合い、思いやりのある心豊かな児童を育成する。
- (3) 適切な運動や健康・安全への理解を通して心身共に健康な児童を育成する。
- (4) 家庭や地域と連携・協力し、信頼される学校を目指す。

石川の子どもの学力を伸ばす

(参考)

改訂『いしかわ学びの指針12カ条』【学びの12カ条プラス】

<活用力を高める授業づくり> ※ □のついた番号の項目は、今回の特徴的な改訂点

- 1 物事を多様な観点から考察する力の育成
- 2 自ら課題を発見し、主体的・協働的に課題を解決する力の育成
- 3 根拠や筋道を明確に表現する力の育成

<学力・学習を支える基盤づくり>

- 4 目的や状況・相手に応じて「聞く」「話す」態度・姿勢の醸成
- 5 目的や条件に応じて「書く」、必要な情報を「読む(読み取る)」態度・姿勢の醸成
- 6 よりよい解決に向かうための質の高い学び合いのプロセスの重視
- 7 主体的な問題解決のための効果的なICT活用の促進
- 8 よりよい学習習慣・生活習慣の定着
- 9 家族や地域の人々とのコミュニケーションを促進し、家庭・地域・社会と結び付いた学びの推進

<指導改善を進める体制づくり>

- 10 学力と指導力を持続的・継続的に高める組織づくりの推進
- 11 現状把握に基づき、取組の実施・評価・改善を図る指導体制の確立
- 12 保護者・地域との積極的な情報共有・連携の推進

3. 今年度の重点事項

改訂「いしかわ学びの指針12か条」、小松市「わかる授業プロジェクト」の取り組みを教育活動全体で進める

I 確かな学力の育成 (教務部)(1~8条)

学びの3要素(基礎的・基本的な知識・技能, 課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力, 学習意欲)を育成する。

1. 主体的・対話的な学びのある学習活動の充実
 - ①学校研究の国語科を核にする
 - ②考えを深める学び合い
 - ③言語活動・表現活動の質を高める
 - ④外国語活動
2. 学習内容の確実な習熟と定着
 - ①学力向上ロードマップを組織的に進める。
 - ②チャレンジ活用テスト
 - ③チャレンジ計算テスト
 - ④補充学習
 - ⑤家庭学習の習慣化
3. 読書活動の充実
 - ①朝読書
 - ②並行読書
 - ③読書環境の整備

II 豊かな心の育成 (生徒指導部)(1・2・6・7条)

自己肯定感を基盤に, 自らを律し, お互いに理解し認め合う心を育成する。

1. 人間関係力の向上
 - ①生徒指導の3機能を生かした教育活動
 - ②児童会を中心とした縦割り活動(あいさつ運動, 委員会活動, 清掃等)
 - ③特別支援教育の充実
2. 道徳教育の充実
 - ①特別の教科「道徳」の理解
 - ②全教育活動で道徳教育を行う
 - ③道徳の授業公開
 - ④家庭・地域と連携した活動
3. ICT活用や情報教育の推進
 - ①ICT(情報通信技術)の活用
 - ・学習活動での効果的な活用
 - ・活用スキルの向上
 - ②情報モラル教育の推進
 - ・情報化社会のルールの習得
 - ・情報化社会のマナーの理解

III 健やかな身体の育成 (保健体育部)(2・8条)

健康や安全, 体力向上に関心を持ち, たくましい心と身体を育成する。

1. 体力・運動能力の向上
 - ①年間を通した運動の取り組み
 - ・一校一プラン
 - ・スポチャレ
 - ・持久走, 縄跳び 等
 - ②屋外での集団遊び
2. 基本的な生活習慣の確立
 - ①早寝・早起き・朝ごはん
 - ②けが予防
 - ③テレビやゲームの時間
 - ④姿勢の保持
3. 保健・食育指導
 - ①生活改善力の育成
 - ・病気やけがの予防知識
 - ・食生活に関心を持つ
 - ・生活改善に生かす

IV 家庭・地域との連携 (9・12条)

家庭や地域と連携・協力し, 子どもたちの健やかな成長を中心に据えた教育活動を推進する。

1. 自然なあいさつのできる子を育てる。
2. 基本的な生活習慣の定着と家庭学習の習慣化を図る。
3. 授業参観や学校公開, 各種お便り, 学校評価などを通して, 家庭・地域に学校の教育活動について情報発信し, 地域に開かれた学校づくりに努める。
4. 「まちの先生」との教育活動。

組織的な教師集団

『本気・全力~チームワーク・ネットワーク・フットワーク』